

[ 月刊 ] 1988年6月18日第三種郵便物認可

# トマ喰い虫

〒150 東京都渋谷区渋谷2-5-9 パル青山502  
トマ喰い虫社

☎03(498)6095 044(63)5101  
FAX.044(63)9907

No. 58  
90.8.20  
定価 100円

月刊反トマホーク通信改題



トマホーク艦モービルベイの垂直発射装置 (VLS) / 7.31ヨコスカ

## トマホーク艦の新たな母港に抗議する 「イラク制裁」と「平和国家・日本」

(再生紙使用)

[ 発行 ] トマホークの配備を許すな！ 全国運動

●維持会員 (月間会費)

団体 1口 2000円

個人 1口 1000円

●参加会員 (月間会費)

団体 1口 1000円

個人 1口 500円

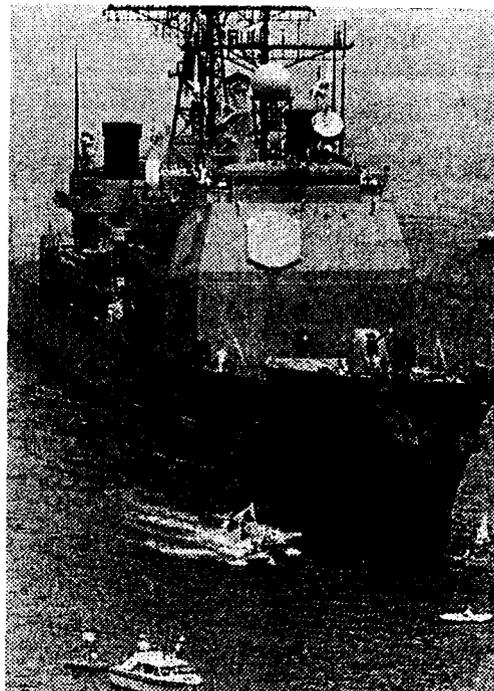
●通信会員

年間 1口

2000円

あなたも仲間にも！ (会費は本誌購読料を含みます)

モービルベイに迫る平和船団(写真上・中) 基地前での抗議行動(下)。…神奈川新聞



これで4隻!

モービルベイ(7/30)ヒュイット(8/25)

# あいつぐトマホーク艦の母港化を許さない ヨコスカ

「船は常に臨戦態勢を保っている」。記者団から「トマホークは現在でも発射できる態勢でこの下にあるのか」と問われたモービルベイの艦長は、VLS(垂直発射装置)を背にこう答えたという(八月一日「神奈川」)。

七月三十日、トマホーク搭載のミサイル巡洋艦モービルベイが横須賀に入港、母港として配備された。これで横須賀を母港とするトマホーク艦は三隻。核の前線基地ヨコスカ・日本列島は体を揺さぶって、また大きくなった。空母の海外母港が唯一横須賀なら、トマホーク艦の母港も横須賀だけ。海軍はそんな

に横須賀がお気に入りなのか。

モービル・ベイの入港時刻に合わせて平和船団が海に出た。ヨコスカ平和船団にグリーンピースも加わり、ゴムボート、モーターボート総勢十隻。海上保安庁の巡視船の規制をかいくぐって、モービル・ベイに接近。モーター・ボートは放射能マークやピースマークを翻して並走した。横浜からは非核県民運動と原水協のチャーター船計七隻がそれぞれにデモを繰り広げた。陸上でも入港の前日、当日と二日連続のデモ。基地ゲート前に歌声が広がる。「この海を愛するなら、トマホークはいらない。いっしょに船を出そうよ、トマホークはいらない!」

## 核技術能力検査に合格

七月二十八日、グリーン・ピースはワシントンで記者会見し、モービルベイの核搭載を決定づける事実を発表した。グリーンピースが入手した米海軍の公式資料によれば、一九八七年に就役したモービルベイはこれまでに二回、核兵器搭載艦船に義務付けられている核技術能力検査(NTPI)を受け、検査証を発給されている。

NTPIは平時に核兵器を恒常的に運搬す

る艦船に対して最低十八ヶ月に一度、核兵器の組み立てや維持、貯蔵や移動、操作に加え、核事故への即応力などさまざまなポイントについて実施される厳しい検査である。モービルベイに対する二回目の検査は一九八九年三月六、七日の両日であったことまでわかっている。

こんな厳しい検査にパスした艦船を手ぶらで(核を積まないで)配備するなどということが考えられるだろうか。

## 今度はヒュイット!

そして、今度はヒュイット(スプルーアンス級駆逐艦)である。このニュースが印刷機にかけられているころ、つまり八月二十五日午前には、横須賀に姿を現しているだろう。これでトマホーク艦の母港は四隻。もう一度聞こう。海軍はなんでそんなに横須賀が気に入っているのか。日本政府は動かぬ証拠をいくつ積み重ねられても「米國から事前協議の申し入れが無い以上核はもちこまれていない」という立場を一ミリも動こうとしない。いつまでこんなごまかしが通用するとおもっているだろうか。もう終いにしよう。(た)

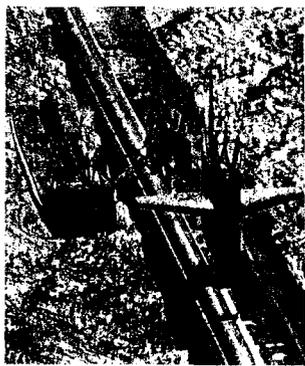
●反トマ全国運動は、ヒュイット入港に抗議するため非核県民運動と協力して、

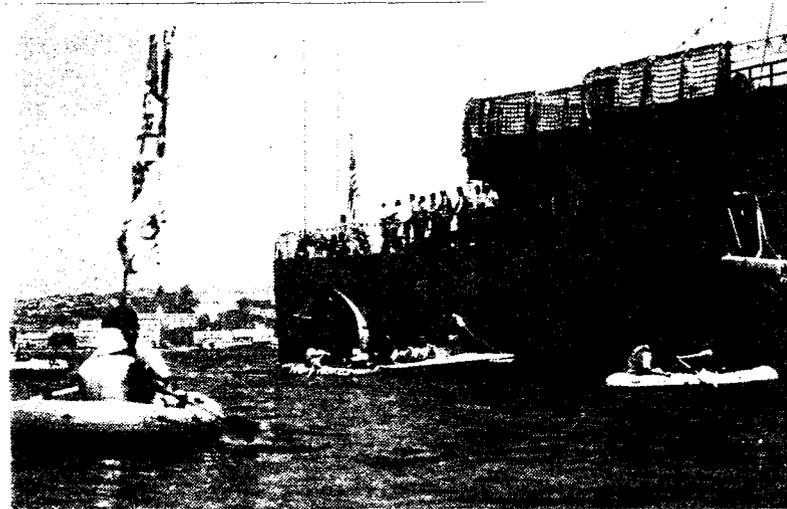
チャーター船による海上デモを行います。(八月二十三日記)

## 原潜、慌ただしく動く

横須賀では、トマホーク搭載原潜が慌ただしい動きを見せた。

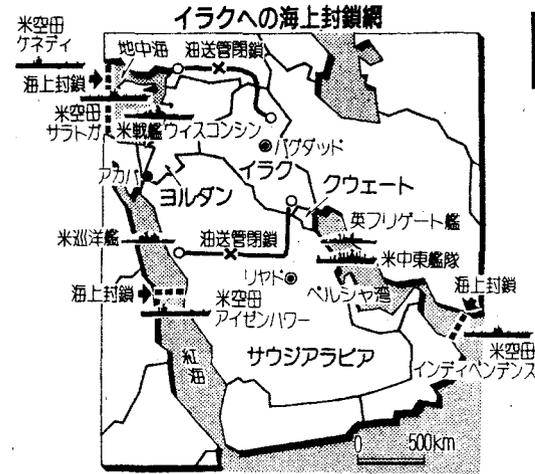
八月二十三日朝、パーミンガム(ロサンゼルス級)とアスプロ(スタージョン級)が相次いで入港したが接岸せず、沖合に停泊して約十分後には出港していった。この時、基地から小船が原潜に近付き、軍人が小さな黒いバッグを原潜側に手渡すのを朝日新聞のヘリコプターが目撃、写真を撮影し、同日の夕刊に掲載された。同紙は「緊張が高まる中東情勢に備え、暗号表を変更したのではないか」との軍事評論家のコメントを付している。





### 各地短信

●広島、長崎など各地の八月の行事については次号で報告します。



## 「良い軍事介入」などない

### 「イラク制裁」と「平和国家・日本」

イラクによるクウェート武力併合、経済制裁と海上封鎖。対抗する人質作戦……。中東をめぐる情勢は刻一刻と緊迫の度を増している。アメリカは、局地的紛争に備え、緊急派遣部隊と前進配備体制を維持強化するとして「マルタ」後の軍事戦略を文字どおりに実行に移し、空前の大部隊を投入、イラク制裁の先頭に立ち、「世界の憲兵」としての存在を誇示している。

日本の基地も活発に動き始めた。沖縄からは海兵隊の地上部隊と空中警戒官制機(AWACS)が岩国からは海兵隊航空団所属の攻撃機が八月上旬には出動、佐世保からは揚陸強襲艦デビュークなど母港とする四隻の艦船が出港していった。在日米軍出動の規模は今後も拡大が予想される。空母ミッドウェー機動部隊が近日中に出動するとの情報もある。

● ●

イラクの侵略は弁明の余地もない、許しがたい行為である。しかし大国がこぞつくりひろげる軍事的介入に「正義」があるととても思えない。「正義」のかけには、資源をめぐる打算や産油地域での主導権をねらう野心が露骨に見え隠れする。国連決議の枠を超えて海上封鎖を実行が、何時、誰によってアメリカに与えられたのだろうか。軍事介入とは言い換えれば、イラク民衆を人質

にとることだ。血を流すのは常に民衆である。民衆の立場に立てば「良い軍事介入」など有り得ないことは歴史が教えている。

● ●

今、最も問われているのは日本のあり方だろう。これまで一滴の血を流すこともなく、石油資源の収奪の上に繁栄をむさぼってきた「平和国家・日本」がこの難局にどのように立ち向かうのかを世界が目している。イラクの侵略を「防衛力整備の必要性が裏付けられた」などと、軍拡の口実に使ったり、タカ派が主張するように、自衛隊海外派兵への階段を上ることは断固阻止しなければならぬのは言うまでもないことだ。

今こそ、国際紛争の非暴力的解決を宣言した憲法の原点に立ち返るべきときなのだと思う。この原点に立った外交こそが求められているように思う。たやすいことでは無いだろう。それには日本がまず、自らを正さなければならぬからだ。日米安保体制のもとの軍備増強も、非核三原則をめぐる偽りも、経済侵略や資源収奪の現状も、すべてをこの原点に照らして洗い直し、真の平和国家として生まれ変わらなければならないのだから。

この気の長い道程のゴールが見えるまで、私たちはこれ以上人々の血が流されないことを祈るほかないのだろうか。(田巻一彦)

呉

### ベガ号とともに 米軍艦入港に抗議

七月二十六日、米海軍のミサイル巡洋艦スレレットにちょうどの日到着したグリーンピースの反核ヨット、ベガ号が並走して抗議。翌二十七日には、「広島・呉・岩国平和船団」のゴム・ボート八隻とベガ号がジョイント・セーリングを展開、ゴムボートは軍艦のすぐ間近まで近寄り、海の非核化・軍備撤廃を力強く訴えた(写真上)。(ベガ号は横須賀：前号で既報、呉の他大阪、長崎も訪れジョイント・セーリングや市民との交流を持った)。

舞鶴

### 第七艦隊旗艦 ブルーリッジ の入港に抗議

七月二十五日、米第七艦隊旗艦「ブルーリッジ」が海上自衛隊護衛艦「しらね」とともに入港した。日本海での「日米小規模特別訓練」を終えての入港である。これに対して京都「反戦トタバタ会議」の平和船団のゴムボート四隻が抗議。陸上では、「トマホーク阻止京都連絡会」の吉田満智子さんから三人が市役所前に座り込んだ。座り込みは二十七日まで続けられた(写真下)。



一方、二十五日には旧軍港四市振興協議会が開催された。横須賀、呉、佐世保、舞鶴各市長が出席、国に対して、「非核三原則の徹底」「艦船の安全対策と事故の再発防止」などを国に求めることを決めた。「反トマ全国運動」に参加する各地のグループは、各市長に対して「ミッドウェー爆発事故の真相究明と公表」を国に求めることなどを文書で要請した。

# 反核ホット ライン

28

## だよ

### 入港情報

90・7・21～8・20

P級 (原子力潜水艦パーミット級)  
S級 (原子力潜水艦スタージョン級)  
L級 (原子力潜水艦ロサンゼルス級)

(7・26) ソルト・レイク・シティー(L級) 午前10時15分 横須賀に入港。同日10時27分に出港。

(8・3) パーミングム(L級) 正午横須賀に入港。

(8・17) パーミングム(L級) 午前10時横須賀を出港。

\*1990年8月20日現在各港への原子力艦の入港回数は、  
横須賀 13回(うち原潜13回)

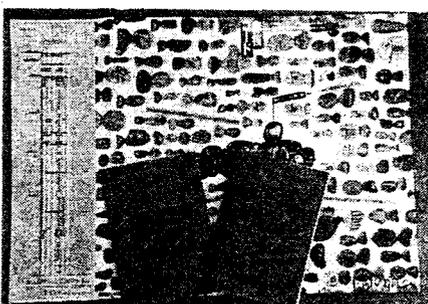
佐世保 1回  
(うち原潜0回)  
ホワイトビーチ 9回  
(うち原潜9回)  
計 23回  
(うち原潜22回)

★ソルトレイクシティー、パーミングムの両艦とも核非核両用の巡航ミサイル・トマホークの配備対象艦である。

★原潜の入港回数はすでに昨年一年の合計を上回っている。また、今後の中東情勢いかなによっては、原潜の出入港が大きく変わる可能性もある。要注意だ。

### 「神奈川発」 非核コード・改定版が出来ました!

トマホーク搭載?  
78隻のリスト作成  
ポスター、解説書発行



搭載の有無をチェックした。非核コード・トマホークの改訂版が、「県民のいのちを守る共同行動委員会」(代表・福田利久自治労県本部副委員長)からポスターにして発行された。初版後三年間の新資料に基づき、七十八隻のリストを作成、横須賀を母港とするミサイル巡洋艦「バンカーヒル」などの核疑惑を強く示す内容になっている。ポスターのほか、解説書資料集も発行する。リストに上がった艦船は、全太平洋配備艦搭載可能艦から、トマホーク搭載予定艦約六十隻、トマホーク搭載対象の艦船十八隻、トマホーク搭載が確定な艦船は水上艦十六隻、潜水艦七隻の計二十三隻で、初版に比べ十一隻も増加している。

ポスター(縦五十センチ、横七十八センチ)では、米議会での証言など五つの情報源ごとに、配備計画を十一点、戦配備を百点などとして核疑惑度を点数化し表にした。ミサイル巡洋艦「バンカーヒル」は四百八十点、戦艦「ニュージャージー」などと並んでトップ、駆逐艦「アイフ」も三百点で高い数字をあげており、両艦の核搭載を強く疑わされている。

「非核コードの解説」(B4判、六十六頁)は、トマホークの説明のほか、核爆弾、核爆雷などトマホーク以外の核についての情報も掲載。また、コード作成の資料は根拠資料ファイル(B4判、百三十三頁)にまとめられている。

ポスターは一万五五百部発行、一部二百部、解説は千五百部発行し三百部で販売する。根拠資料は特別に必要とする人に限定して無料配布する。

問い合わせは、共同行動委員会 ☎045(774)2435。

### 原子力艦入港情報 テレホンサービス

プッシュホンで、まず 井8301、そして連絡番号 968・1071、次に暗誦番号 1071  
ク ロ ハ イ レ ナ イ

### 読者から



●みなさん、ご苦労さんです。私は間もなく齢八十になる老骨ですが、七年前から三重県の北端の桑名市、桑名郡、員弁郡を中心に「平和と憲法を守る桑名の会」を組織し、細々と草の根の活動をしています。「反核・反戦・平和・護憲」という会のニュースを隔月で発行しています。「トマ喰い虫」からも資料として利用させてもらっています。

残念ながら、会員の一人一人から積極性を引き出せず、あせるばかりです。日本国憲法が完全に踏みにじられているのに、国民の多くが「今日の豊かさ」と「平和」にマヒされているのでしょうか。若い皆さんのエナジーな活動に心からの声援を送ります(一九九〇・七・二八夜)。(加藤隆通・無職・桑名市)

●D.Iを提唱してきました。De-alignment(非同盟)、De-militarization(非軍事化)、De-nuclearization(非核化)、Develop

ment on Independence (自立的発展)のうち今日の日本では、De-militarizationのすめが一義的に重要になってきたように思います。天皇がSpeakerの教育を一時にもせよ受けたことは、この人のためにもよかったと思います。(佐藤行通日弘・仏教僧侶・茨城県鹿島郡)

●いつも「トマ喰い虫」ありがとございませう。今春、沖繩の読谷村に二ヶ月住みました。そして、沖繩駐留米軍の都市ゲリラ戦演習(恩納村)の強化や原潜のひんばん入港をみてきました。

沖繩を十分視野にいれて安保や反戦を考えて来たのか?と自分の浅薄さを反省させられました。すこし目がかわったような気がしますが、反トマ運動にこのところ呼応しておらず申し訳なく思っています。ご健闘を祈ります。(花崎卓平・文筆業・札幌市)

●私は七十才になった孤(独居・子供なし)老の一人ですが、戦争時代を体験したものと、その頃参政権もなく情報も国家管理されたなかで心に思っている反戦運動一つで、きなかつた責任をひきずってきました。四十五年たつて、TVその他に情報はあふれ、若い人の海外旅行もママになり半分は高等教育が受けられるというリッチ日本になったのに、ただ経済的に他国を侵略して、(八ページへ)

虫を喰いしよ  
トマ喰いしよ  
いっしょに作り

スタッフ、助っ人大募集!



●編集から、版下作り、印刷まで「トマ喰い虫」はすべて手作りです。ミニコミ作りに興味がある人、平和運動の新しい話題にふれてみたい人、イラストやデザインをいっしょやってみようか、と思ってる人。ワープロ打ちならまかせなさい、あるいは覚えてみようかな、なんて考えているひと。新しい友との出会いを願っているあなた! いっしょにやってみませんか。

●月に一度の発送も大事な仕事です。一度のぞきにきてください。ちょっとの時間でも手を貸してもらえたらうれしいです。毎月20日直後の日曜日、日吉のトマ喰い虫社分室です。(東横線日吉駅下車歩いて7分/☎044(63)5101)

次回は 9月23日(日) 午後2時からです。

### 会計報告 (90.7.20 ~ 8.17)

[収入]	
○前月からの繰越	△114,119
經常繰越	135,881
借入金繰越	△250,000
○今月の収入	179,158
会費収入	127,500
内	
維持団体	0
維持個人	85,000
参加団体	0
参加個人	7,000
通信会員	35,500
カンパ収入	46,500
行動収入	0
資料収入	5,000
反核ホットライン収入	0
アンケート調査収入	0
利息収入	158

[支出]	
●今月の支出	156,448
家賃(11月分)	30,000
水道光熱費	8,192
電話代	9,928
郵送費	45,642
文具代	669
印刷費	48,027
行動費(ヒューイット 抗議ハガキ)	3,500
資料経費	0
反核ホットライン経費	8,060
アンケート調査経費	0
郵便振替等手数料	2,430
●次月への繰越	△91,409
經常繰越	158,591
借入金繰越	△250,000

おたより  
待っています

(七ページから) グルメ、買い物、わが子教育投資に狂奔する多数派国民に怒りが止まりません。あの憲法前文の精神を真剣に実現することが、日本国民(主権者)の当然の義務であり、責任であり、地球人としての権利であると考えます(別便でカンパ送金しました)。「振替用紙通信欄に」アメリカの裁判所への提訴は大賛成ですが、「艦載機の騒音」だけが争点なのはおかしい。「核を含む全世界的軍縮」アジアの代表的既基地となるヨコスカの基地をとめよ」とすべきではないでしょうか。同時に自民党員に「軍事費削減に賛成か否か」、野党には「軍縮を闘うかどうか」のアンケートを送るなどして圧力を。

(安藤八千代・無職・千葉市)

編集部では皆さんからのお便りをお待ちしています。紙面への感想、ご批判、身のまわりの耳より情報、運動への提案、アピール、誰かに告げたい胸のうち…。内容は自由。同封の読者カードをご利用下さい。紙面で紹介させていただきます。ハガキでは言い足りない方、という方ももちろん大歓迎。二〇〇〇字位を目途にご投稿ください。締切りは毎月十日です。

(編集部)

### ヒューイット入港抗議海上デモ

会計より  
会費納入、カンパ  
のお願い

●皆さんのご協力の結果、財政状況は好転しつつあります。ありがとうございます。●上記の会計報告のあと、ヒューイットの横須賀入港・母港化に抗議して、臨時のハガキ発送入港当日(二十五日)のチャーター船による海上抗議デモと、行動支出が相次ぎました。海上デモは「平和船団」のボートやヨットとともに、抗議の声を直接海軍に伝える、大事な行動です。ランチ(はしけ)を一隻借りるのに六、七万円。今回は「非核具民運動」と協力して三隻出しました。乗船者からのカンパだけではとても金額は賄いきれません。フトコロには大打撃ですが、何とか続けていきたい行動です。●というわけで、カンパ、滞納会費の納入を重なお願いたします。

#### 月刊トマ喰い虫第五八号

一九九〇年八月二十日発行(通巻五九号)

\*発行 トマホークの配備を許すな! 全国運動  
〒一五〇 東京都渋谷区渋谷二一五十九  
バル青山五〇二 トマ喰い虫社

☎〇三(四九八)六〇九五  
〇四四(六三)五一〇一  
FAX〇四四(六三)九九〇七  
郵便振替 東京六一三六一四八

\*編集 トマ喰い虫編集委員会  
\*定価 一〇〇円(通信会員年間二〇〇円)